

すみた 議会だより



「やさしい気持ちがあふれるね！
メリークリスマス！！」

《有住保育園》関連記事20P

12月議会のあらまし

暮らし・子育て手厚く ②

鳥獣被害対策などで論戦 ⑤
(6人の議員が一般質問)

住民と議員との懇談会 ⑭
～地域の意見を町政に～

議会傍聴を終えて ⑱



物価高騰対策に6事業

第2回定例会
(12月議会)
あらまし

事業名	予算額
物価高騰緊急支援給付金	4900万円
子育て世帯臨時特別支援金	480万円
介護サービス事業所等 価格高騰対策支援金	320万円
生活困窮者原油価格・物価高騰等 特別対策給付金	457万円
住田チケット「2023+1」業務委託料	1300万円
学校給食費負担支援事業	288万円

※各事業の詳細は3ページをご参照ください。

第2回定例会(12月議会)は、12月5日から8日までの4日間の会期で開かれ、一般質問には6名の議員が登壇。関係人口の拡大、公金管理運用、公共施設整備、まちづくり、学校統合などについて議論が交わされました。

本会議では、条例改正、令和5年度一般会計補正予算など12議案が、全会一致で可決されました。

町内事業所と住民を対象

「すみチケ2023 + 1」追加発行

一般会計

補正予算

暮らし・子育て手厚く
影響の長期化を受け対応

令和5年度住田町一般会計補正予算では、物価高騰に対応する支援として「すみチケ」の追加発行、非課税世帯への給付、学校給食費への充当など全6事業を計上。国からの地方創生臨時交付金などを活用し、各事業総額は7745万円となります。

住田チケット「2023 + 1 (プラスワン)」
業務委託料
1300万円

感染症の流行による影響を受けている町内事業者への消費喚起と住民への物価高騰対策として、令和6年2月1日より、住田チケット「2023 + 1 (プラスワン)」の販売を開始する。

1セット1万5000円分(5000円の商品券30枚)を1万円で購入。プレミアム率は50%。発行数は2100セットを予定。1世帯あたり1セットを購入することができる。3月上旬ごろまでの期間限定での利用を見込む。

福祉分野に 広く助成



△ 食材費が値上がりする中、学校給食費は据え置き

物価高騰緊急支援給付金
4900万円

住民税非課税世帯などにおける電気・ガス・食料品などの価格高騰分に対し支援する。1世帯当たり7万円を給付。

生活困窮者原油価格・物価高騰等特別対策給付金
457万円

住民税非課税の高齢者世帯、障害者世帯、ひとり親世帯、生活保護世帯を対象に灯油購入費などを助成する。1世帯当たり7000円となる。

子育て世帯臨時特別支援金
480万円

児童手当受給者及び高校生への保護者への物価高に対する経済的支援として、子育て世帯へ給付金を支給する。

介護サービス事業所等価格高騰対策支援金
320万円

町内の介護サービス事業所などにおけるエネルギー・食料品価格の高騰分に対し支援をする。

学校給食費負担支援事業
2008万円

食品などの物価高騰に伴い、給食費のまかない材料費も増加している。このため給食費を値上げしなければならぬが、保護者の負担軽減のため給食費は据え置きとし、まかない材料費の増額分に交付金を充当する。

風力発電

風力発電所「住田遠野ウインドファーム」が、令和5年5月に稼働。発電所は、遠野市小友町と住田町下有住の牧場跡地や国有林野29ヘクタールに設置されている。27基の風車による最大出力は、11万3400キロワットで県内最大級。一基当たり4200キロワットの発電量となる。遠野市側に17基、住田町側に10基設けられた。

基金積立金

問 住田町再生可能エネルギー活用基金積立金は、今後何年間歳入の見通しがあるのか。総額でいくらになるのか。

答 農山漁村再生エネルギー法に基づいて、「住田遠野ウインドファーム」による風力発電の収益の一部から資金協力を受けるもの。20年間で、総額は4億8000万円となる。

下水道事業

問 公共下水道ストックマネジメント修繕改善計画策定業務委託料の1512万円減額の理由と、今後の修繕管理などに係る計画は。

答 入札による事業費確定のために減額補正。今後5年間の機械や施設の点検のため、6年度以降に修繕や改築を進めることになる。予算の平準化を図るためであり、社会資本総合交付金で1/2の補助を受ける。

空き家バンク

問 空き家・空き地等情報バンク運営業務委託料の減額は。

答 入札者が無く、業務委託ができなかった。現在は、企画財政課で対応している。



△ 町内への波及効果が期待される再生エネルギー事業

適正管理促進の拡充へ

～管理不全空き家を新規定～



△ 不動産価値を低下させ景観を損なう空き家問題

問 条例制定の目的がどのように生かされているか。住民などからの意見や相談の状況は。

適切な管理が行われていない空き家等に対する処置の拡充が目的。空き家等対策推進に関する特別処置法の一部改正で、「管理不全空き家等」が追加された。

放置すれば特定空き家等になる恐れがある空き家等を「管理不全空き家等」として、町長が、助言や指導、勧告を行う。

答 5件の連絡がある。今後も調査を進め、空家等対策協議会と連絡調整を図り、状況に応じ対応する。

町民の声

地域の空き家の多さに驚いている。交流人口対策と併せ、空き家利用を考えてほしい。

佐々木 慶逸さん
(上有住字八日町)

町民の行政ニーズに即応でき、重要な行政課題解決に対応するための改正となる。

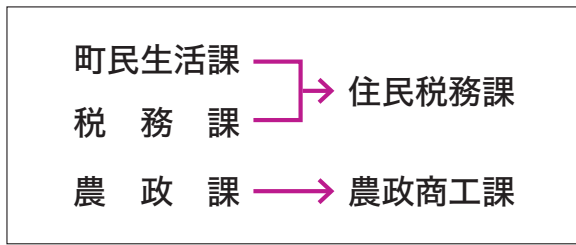
町民生活課と税務課を統合し「住民税務課」とする。農政課の名称は、「農政商工課」とする。

町の組織再編は、平成27年以來となる。



町組織の再編

住民税務課を設置



「住民税務課」では、町民生活課で行っている国保医療や戸籍、公共交通、環境に関する業務と税金関係を統合することで、窓口一本化による行政サービス向上や繁忙期の対応を図る。施行は、令和6年4月1日からとなる。

その他の条例改正

- 一般職・特別職・会計年度任用職員の給与などに関する条例改正
- 住田町国民健康保険税条例改正

町民の声

組織体制の見直しで、一層の活性化と福祉向上を期待します。

佐藤 清司さん
(世田米字川向)

賛成討論

課題に即応の体制

瀧本 正徳議員

少子高齢化の進む町の課題に即応するための組織体制の見直しと捉える。住民ニーズに役場一丸で応える組織となるよう期待する。

一般質問

町の考えを問う

6人の議員が質問

鳥獣対策、公共施設整備
事務の電子化などで議論

ページ	質問者 (登壇順)	質問項目
6	おぎわら 荻原 <small>まさる</small> 勝	①交流人口・関係人口の拡大 ②文化・観光資源と広域化
7	むらかみ 村上 <small>かおる</small> 薫	①財務会計事務の電子化 ②行政事務の包括業務委託 ③公金の管理運用
8	ぎんの 金野 <small>ちづ</small> 千津	①公共施設のアクセシビリティ（利便性）
9	たきもと 瀧本 <small>まさのり</small> 正徳	①持続可能な「こごんまりな町づくり」 ②鳥獣被害対策強化について
10	はやしぎ 林崎 <small>さちまさ</small> 幸正	①中学校の統合
11	みずの 水野 <small>まさかつ</small> 正勝	①耕作放棄地の解消と鳥獣被害対策 ②仕事と学び複合施設「イコウェルすみた」 の現状と展望

一般質問は、議員が町の行財政全般にわたり、施策執行状況や将来に対する方針を聞き、疑問点をたじます。質問方法は、1回目は一括して質問しますが、2回目以降は1問ずつ質問する1問1答方式を採用しています。持ち時間は、答弁を含めて60分です。

▼QRコード



全文記録（議事録）は、役場庁舎2階の総務課と町のホームページで閲覧できます。
（QRコードで議会ホームページへ直接進むことができます）

問 住田会集いの参加増は

答 会の活動に今後も協力



おぎわら 荻原 まさる 議員 勝

問 「ふるさと住田会の集い」における首都圏の若者の参加に、町としても積極的に協力すべき。

答 町長 若者を含む参加者の増加は、役員会で議論している。新たな取り組みとして、今回の集い参加者で同意をいただいた方の住所を支部単位で活用できるようにする。同窓会や歳祝いなどに首都圏から参加される方から同意を得ることも取り組んでいく。今後とも、会員及び集い参加者の増加に向けて、町の役割を果たしていく。

東京で開催されてきた「ふるさと住田会」は次回で20回目。記念の機会にしたいですね。

議員のつぶやき

町の考えを問う

問 住田会役員などを町側に案内し、交流をより双方向にすべきでは。

答 町長 役員が多くが「すみた大好き大使」であり、広報誌とともに町内で開催されるイベントなどの情報を知らせ、知人への周知や自主的な交流参加を促している。役員会を中心に、町としてできる部分は協力しながら、今後につなげていきたい。「ふるさと住田会の集い」は、本町の産業振興のヒントを得る重要な機会である。町内で活動する方の多くが参加できるように働きかけていきたい。

問 史跡への付加価値を

答 一体的に広く紹介

問 特色ある「産金の歴史」を保有している気仙3市町の関係を深め合い、高める取り組みをすべき。

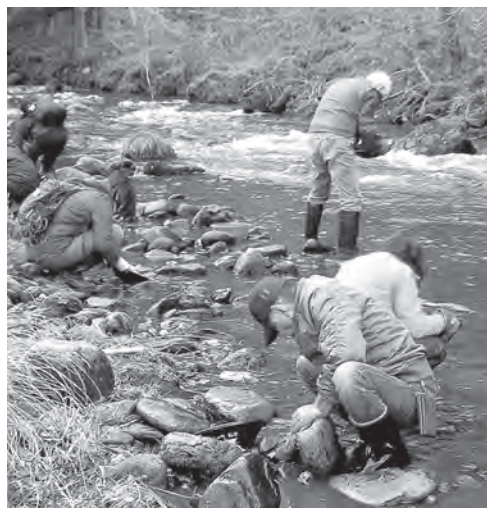
答 町長 三陸ジオパークのジオサイトの中で、大船渡市は今出山金山跡、陸前高田市では玉山金山跡、住田町では気仙川の砂金採り体験を紹介している。

気仙地域のジオパークの保全・活用の一体的取り組みを推進するため「三陸ジオパークけん地域協議会」が平成30年8月に設立されている。

「産金の歴史」に係る地域資源も、この協議会を中心に意見交換や情報共有を図り、観光振興に取り組んでいきたい。

問 県内3つの世界遺産と同類の価値がある重要史跡が、気仙3市町にもある。地質学などの付加価値を付け、歴史旅行や教育旅行につなげては。

答 教育長 大船渡市の縄文貝塚群、陸前高田市の玉山金山跡、住田町の栗木鉄山跡は、それぞれが貴重で魅力的な史跡であり、一体的に外部で紹介することは効果的と考える。栗木鉄山跡では、年度内に、国指定の際にご指導をいただいた専門家10名による「栗木鉄山跡整備検討委員会」を開催する。広域連携及びジオパークなどの付加価値を付け、歴史旅行や教育旅行につなげるよう配慮していきたい。



△ 11月23日に上有住で開催された砂金採り体験では町内外から約30人が参加

問 電子決裁の導入は

答 有効な手段の一つ

問 総務省からDX（デジタル変革）推進計画第2版が提示された。施策実現には「電子決裁・電子文書管理」が必要となるが、現状はどうか。

答 総務課長
契約書など約3万枚。

問 課題と導入の考えは。

答 町長
課題は、決裁や回覧文書の効率化、担当者不在時の案件処理、文書の適正管理、紙文書の保管場所確保などがある。財務会計事務を含めた電子決裁・文書管理システムは、有効な手段の一つと捉えている。できることから導入をしたい。

問 電子調達システム導入の考えはどうか。

答 町長
入札契約関連事務の効率化、迅速化を目的として、令和7年度、8年度の町営建設工事指名競争入札参加資格申請書受付時点から電子入札システム導入に向けた検討を進める。

問 電子決裁・文書管理システムは、有効な手段の一つと捉えている。できることから導入をしたい。

※**証憑書類**とは
取引の事実を証明する証拠となる書類。



村上 議員
むらかみ 村上 議員

電子決裁・文書管理は時代の流れ。無駄を無くし、行政サービスの向上を期待したい。

議員のつぶやき

町の考えを問う

問 包括業務委託の検討を

※SDGs債とは
持続可能な開発目標に基づいて発行される債権。

答 必要に応じて選択

問 陸前高田市では、民間企業との行政事務の包括業務委託契約を締結し、効果を上げている。導入を検討してはどうか。

答 町長
人口減少に伴う財政の悪化に対応する中・長期的な人件費の削減を図るため、費用対効果に基づく業務のデジタル化やアウトソーシングなど、必要に応じた選択をしながら行政サービスの持続可能性を高めていく。



△ 役場の倉庫として利用されている建物には、保管スペースなどの課題がある

基金運用の現状は

問 令和5年5月31日現在の基金残高は合計約62億3000万円。他自治体では収入確保と社会貢献の両立を見据え、SDGs債の購入など投資が本格化している。基金運用の現状はどうか。

答 町長
「資金管理運用方針」を策定し、債権及び定期預金により運用している。

問 公共施設のトイレ改修は

答 改修の必要性を認識



きのの ちづ 議員
金野 千津

町の考えを問う

計画性をもって取り組む姿勢と、十分な説明が、住民の理解につながるのでは…。

議員のつぶやき

問 老朽化のため建替えも検討されている庁舎周辺施設整備計画の進捗状況と今後の予定は。

答 町長 庁舎周辺の施設整備は平成24年3月に策定した役場庁舎建設基本計画に周辺施設の方向性を明記し検討を開始している。今後は、中・長期的な財政負担状況を明確にし適切な整備時期を判断したい。人口減少による利用率の減少などの課題を解決しながら整備計画の作成に取り組むことも必要と考える。



△ トイレなどの不具合箇所が目立つ農林会館、生活改善センターなど役場周辺の公共施設

問 保健福祉センター、農林会館、生活改善センターでは洋式トイレが少なく、使用できないトイレが放置されている。住民の利便性を考え早急な対応が望まれるが、今後の改修・修繕の計画は。

答 町長 公共施設は、住民の利用しやすさが大切だと捉えている。町の公共施設は、昭和年代に建築されたものが多く、施設・設備機器の経年劣化が生じており、必要な修繕を行いながら、施設の維持管理に努めている。

公共施設のトイレなどの改修は、公共施設等総合管理計画及び公共施設個別計画に基づき改修の必要性や施設の耐用年数に鑑み、進めていきたい。

答 教育長 図書室の運営は、中央公民館図書室の図書選定会議などを開催し、様々な意見やアイデアを承っている。読み聞かせボランティア「どんどこ」や図書館コーディネー

問 読書離れが心配される中、図書室を多くの住民に利用してもらうためには魅力的な図書室づくりは欠かせない。中央公民館における図書室の役割をどのように位置づけ今後どのように活用を進めていくのか。

魅力ある図書室を



△ 図書室は町の文化的指標

ター「まぐぶる」の方々の意見も参考に運営をしている。図書室のある生活改善センターは、経年劣化による電気や水道などの不具合が散見され、エアコンも設置されていない。特に夏の利用には課題がある。

以前より新築や改修などを求める声は寄せられているが、図書館の建築には、役場周辺整備との調整が必要と考えている。

町民、有識者からの意見を踏まえ、慎重に協議をしていきたい。

問 協働の地域づくりは

答 小さな拠点で若手職員研修

問 少子高齢化・人口減少が進み、社会が縮小傾向にある。縮小社会がもたらす施策への影響や行政サービス変化は。

答 町長
職員が地域や町づくりに参画しやすい環境を整える。若手職員の小さな拠点での派遣研修を計画したい。

問 町民と協働し地域をつくる職員の具現策は。

答 町長
人口減少は財政的には厳しくなるが、町内各地や広域での連携を密にし、生活機能や住民サービス維持向上を図る。

問 共生のまちづくりは「みんなで」の参加姿勢が大切。連携と町民意識醸成策は。

答 町長
職員の生活を支える新しい地域運営の仕組みづくりを

答 町長
現在、小さな拠点づくりを推進している。持続可能な町とすべき関連施策は、次期総合計画に方向性を明記したい。

答 町長
図る。従来の習慣や枠組みに捕らわれず外部人材や意見を取り入れ、意識の醸成と改革を進める。



たきもとまさのり
瀧本正徳 議員

住民の不安解消は私たちの責務だ。

議員のつぶやき

町の考えを問う

問 サル・イノシシ対策強化を

答 行政と地域一体で取り組む



△ シカ・イノシシ・サルなど広範な対策に設置された防護網

問 ニホンジカ・サル・イノシシ・クマなどの獣被害は深刻な不安課題である。鳥獣被害対策への行政の関わり方は。

答 町長

町では個体群管理、侵入防止対策、生息環境管理の3本柱を基本としている。行政と地域が一体となり取り組む。

問 実施隊（猫友会）や被害防止施設などの関係予算の充実に努めるべき。

答 町長
経費の見直しを含め、一層の支援策の充実を図りたい。

問 今後ますます深刻化が予想される鳥獣被害対策の、総合的な対策部署を設置し、職員配置で対応すべき。

答 町長

農政課と林政課が被害状況や課題を共有し必要対策を講ずる。

問 どう活用 有住中跡地



はやしざき 林崎
さちまさ 幸正 議員

町の考えを問う

将来を見据えた
施策を望む。

議員のつぶやき

答 教育支援センターを設置

問 令和6年度から中学校が1校に統合される。廃校となる有住中学校の建物や土地をどのように活用するのか。

答 教育長
有住中学校校舎は建築から51年、体育館は50年が経過し、今後の長期間の使用は困難である。解体には多額の費用が必要となることから、当面は校舎を教育関連施設としたい。様々な理由で学校に通うことができない児童生徒のため、専門の職員による学習指導や面談などを通じ、再び学籍を有する学校への通学を支援する「教育支援センター」の設置準備を進

めている。グラウンド及び体育館は、社会体育関連で活用を図る。

問 当面は世田米中学校の校舎を使うことになるが、将来的にどのような考えているのか。

答 教育長
世田米中学校校舎は、昭和59年の建築から39年が経過している。耐用年数などを考慮し、今後10年間程度は校舎として利用する計画である。

その後は、今後の生徒数の推移や通学が広範囲となることから、慎重な検討が必要と考える。

問 住高と新中学校校舎の関連は

答 設置者が異なり利用は困難

問 定数割れしている住田高校の存続と住田中学校との関連はどうか。

答 教育長

統合する中学校と住田高校では、校種及び設置者が異なることから、校舎や校庭などの施設面の利用に関しては困難な点がある。

住田高校は、町、教育委員会が一丸となり、魅力化向上を進めている。中学校に住田高校の良さを積極的にアピールし、入学生の確保を図り住田高校の存続に取り組んでいる。町づくり大会では住田高校魅力化推進事業の事例を発表し町民に広く周知するとともに、県外の生徒を受け入れる「いわて留学」の活用にも力を入れていく。

住田高校と中学校は、文部科学省の研究開発学校指定における地域創造学の取り組みを通して連携している。

今後とも中学生の進学先として選択しうる高校として、魅力化向上の支援を継続していく。

問 住田高校の生徒募集に向けた対応は。

答 教育長

住田高校では、令和6年度も入学生を募集する。管内中学校の教職員、生徒及び保護者に周知している。



△「教育支援センター」として活用を進める有住中学校校舎

問 鳥獣対策に放任果樹伐採を

答 柿の木伐採の意向調査へ

問 担い手農家への農地集約や耕作放棄地の解消に係る取り組みの現状をどのように捉えているか。

答 町長

町内19の「地域農業マスタープラン（人・農地プラン）」を作成し、農地の利用集積に取り組んできた。中山間地域等直接支払交付金制度や多面的機能支払制度の活用により、農地の維持・保全に取り組んでいる。

※農地中間管理事業を推進する中で、地域や意欲ある就農者との話し合いを重ねながら、目指すべき将来の農地利用の姿となる目標地図などを盛り込んだ地域計画の策定にも注力している。

問 鳥獣被害を減らすためには、農地などに隣接する放任果樹の伐採や薙刈りが重要と考える。個人での対応が難しい場合

では、どのような方策や展開が有効と考えるか。

答 町長

農地や民家に隣接する放任果樹の伐採は、誘発要因を取り除く有効手段。地権者や地域、行政が情報の交換や共有を図りながら知恵を出し合い対応すべきと考える。現在、サル対策として柿の木などの伐採に関し意向調査を行い、被害対策に取り組んでいる。

※農地中間管理事業とは農地を貸したい人から借り受け、まとまりのある形で担い手農家に貸し付ける制度。



△ 町外居住者を対象とした「滞在体験棟A（1～2名）」。最低1か月の利用から。料金は3万円。町内移住への契機として期待が寄せられている



まさかつ 正勝 議員
みずの 水野

住民と行政がより一体となり、鳥獣対策に協力して取り組まなければならないと語っています。

議員のつぶやき

町の考えを問う

問 イコウエルの活かし方は

答 事業体誘致へ企業訪問

問 仕事と学び複合施設「イコウエルすみだ」の利用状況や取り組みの成果、課題をどのように捉えているか。

答 町長

11月30日時点で、1465名の利用となっている。津田塾大学生と住田高校生による交流会や各種講演会などを開催。成果は、商工会との共催による起業相談会を開催し、起業に向けた準備がスタートしたことなどがある。平日の利用者増や地域おこし協力隊2名の募集採用が課題となる。

問 施設のさらなる活用策など今後の展望や計画はどうか。

答 町長

学生などが町外の様々な人材とつながりを持つ場所を創出するため、年度内に「多彩なキャリアと働き方セミナー」を開催する予定。新たな価値観や発想、多様な働き方に触れる機会の創出を図る。今後は、戦略策定を行い「オフィス棟」を活用する事業体を誘致するための地域プロジェクトマネージャーによる企業訪問をスタートさせることを考えている。

町の課題解決に向けて 2年間の調査開始

公共交通の利便性向上

【総務教民常任委員会】

総務、財政、医療、福祉、教育などに関する事務や事業の調査活動を行います。総務や民生などに関連する請願や陳情の審査も当委員会が担当します。

活動期間

令和7年9月30日まで。

活動事項の選定理由

①人口減少と高齢化が進む当町では、開業医や食料品店の閉鎖が相次いでいる。

②運転免許を返納した高齢者や返納を予定している住民にとって、公共交通のあり方や交通支援策は、重要な関心事であり課題である。

③高齢者の移動手段のあり方を調査研究する。

④高齢者が暮らしやすい移動手段のあり方を調査研究する。

⑤高齢者が暮らしやすい移動手段のあり方を調査研究する。

⑥高齢者が暮らしやすい移動手段のあり方を調査研究する。

活動事項
高齢者の移動手段策。

当町の現状を検証

し、高齢者が暮らしやすい移動手段のあり方を調査研究する。

活動内容

①コミュニティバスやタクシードライバースタッフ、デマンド交通、ライドシェアなど地域交通システムの調査研究。

②フリーパスやタクシー券支給による高齢者などへの支援策の調査研究。

③フリーパスやタクシー券支給による高齢者などへの支援策の調査研究。

④フリーパスやタクシー券支給による高齢者などへの支援策の調査研究。

⑤フリーパスやタクシー券支給による高齢者などへの支援策の調査研究。

⑥フリーパスやタクシー券支給による高齢者などへの支援策の調査研究。

⑦フリーパスやタクシー券支給による高齢者などへの支援策の調査研究。

⑧フリーパスやタクシー券支給による高齢者などへの支援策の調査研究。

委員長の抱負

高齢者への交通支援は、将来さらに必要性が高まる町の重要課題。地域住民の利便性を図るため、調査と研究を進めていきます。



荻原 勝 議員

活動方法

①担当課及び関係者との意見・情報交換。

②事例調査（行政視察）

委員長 荻原 勝

副委員長 阿部 祐一

委員 瀧本 正徳

委員 佐々木初雄

委員 金野 千津

オブザーバー 佐々木春一

議会活性化

【町政調査会】

改選後、令和5年10月2日より、新しい体制となった3つの常任委員会と町政調査会の活動がスタートしました。12月議会では、各組織ごとに所管事務調査の内容や計画が、定められましたのでご報告いたします。

町政調査会は、町政の発展に寄与し、議員相互の親睦及び融和を図ることを目的として、議員全員で構成される組織です。

町政に関する研修会や研究調査、その他会の目的達成のための活動を行います。

活動計画

①町政や議会活動の研修会開催。

②住民と議員との懇談会開催。

③町内外諸団体などとの交流研修会開催。

会長の抱負

議会の役割とあり方を自覚しながら、積極的な姿勢で、全議員が町政発展のための活発な調査・研究などが進む活動にしたい。



瀧本 正徳 議員

会長 瀧本 正徳

副会長 村上 薫

理事 高橋 靖

理事 荻原 勝

理事 佐々木初雄

監事 金野 千津

積極的な施策提案を目指す

活動計画を策定

地場産品に付加価値を

【産業経済常任委員会】

農政、林政、商工、観光、建設、簡易水道、下水道などに関する事務や事業の調査活動を行います。産業や経済に関連する請願や陳情の審査も当委員会が担当します。

担当部門

- ・農政課
- ・林政課
- ・建設課
- ・農業委員会

活動事項

地域資源を活用した特産品開発。

活動期間

令和7年9月30日まで。

活動事項の選定理由

- ① 地域資源を活用した新たな商品の開発が求められている。
- ② 地場産品の付加価値を高め、新たな収益力の強化につなげ、人口対策と所得向上につなげる。

当町の現状を検証し、持続的な成長、町の未来に向けた調査や研究を実施する。

活動内容

- ① 地域資源を活用した新たな商品の開発に係る調査研究。
- ② リピーターの確保や所得向上につながる付加価値の向上に係る調査研究。
- ③ 産業の創出や新たな観光資源への活用

係る調査研究。

活動方法

- ① 担当課及び関係者との意見、情報交換。
- ② 事例調査（行政視察）

委員長の抱負

地域資源の付加価値を高め、新たな商品開発や観光資源となるよう取り組んでいきたいと思います。



佐々木信一 議員

- 委員長 佐々木信一
副委員長 高橋 靖
委員 水野 正勝
菊池 孝
林崎 幸正
村上 薫

親しまれる議会だより

【広報編集常任委員会】

議会広報紙「すみた議会だより」の編集、発行を担当します。紙面の充実と住民参加により、読者に親しまれる広報紙づくりに取り組めます。

活動事項

「すみた議会だより」の編集、発行。
編集方針「次も読みたくなる、住民に身近な議会広報を目指して」の実現。

活動期間

令和7年9月30日まで。

活動内容

- ① 年4回（3月、6月、9月、12月定例会）の発行。
- ② 企画や編集技術向上

のための研修会参加。

- ③ 広報コンクール受賞歴のある他自治体議会への研修視察。

委員長の抱負

議会広報は、住民と議会の橋渡し役です。議会の決定事項や課題、議員活動を丁寧に分かりやすくお伝えしていきます。



水野 正勝 議員

- 委員長 水野 正勝
副委員長 荻原 勝
委員 阿部 祐一
村上 薫
金野 千津
瀧本 正徳

地域実情を踏まえた意見

議会では、町内の各自治公民館と共催で「住民と議員との懇談会」を毎年開催しています。今回は、令和5年11月22日から12月12日までの期間、町内6会場で開催。出席された住民の方々からは、様々なご質問・ご意見・ご要望をいただきました。その主な項目についてお知らせいたします。

月山・外館 地区

Q 松日橋などの史跡を紹介する看板の根元が、腐ってきている。どう対応すべきか。

A 町の予算や寄付により設置した経緯がある。地域や守る会で維持管理を担ってきたと捉えるが、関係者と協議をし、対応を検討していきたい。

その他

- ・シルバー人材センターの人材確保
- ・名代沢川護岸工事の進捗
- ・農業の振興や担い手
- ・議員定数と議員報酬 など

撤去か再整備か 経年劣化の史跡看板



よしだ よういち
吉田 洋一さん
(下有住字十字字)

参加者のひとこと
水田の維持・管理を若い人たちが不安なく引き継げる仕組みづくりを。
農業待ったなし！



△ 多くの出席者数となった中井公民館



△ 松日橋の史跡案内看板

中井 (大股) 地区

要望

- ・公共交通のあり方を検討してほしい。
- ・廃校舎を高齢者のグループハウスにするなど有効的な利活用策を。
- ・栗木鉄山跡付近でも携帯電話を使えるよう取り組んでほしい。

その他

- ・鳥獣被害対策
- ・遊林ランド種山の有効活用
- ・大股川の水質
- ・空き家問題 など

買い物・通院不安 公共交通のあり方検討



えんどう たかよ
遠藤 好代さん
(世田米字中井)

参加者のひとこと
コミュニティバスが中井まで運行されているが、住民の利便性に合った路線の延長をお願いします。

住民と議員との懇談会

東 峰 地区

要望

- ・一人でも多くの役場職員に町内で暮らしてほしい。
- ・防災士の育成や協力体制づくりで自主防災組織の強化を。
- ・きめ細やかな町独自の鳥獣被害対策も検討してほしい。

その他

- ・太陽光施設の将来不安（土地転売や施設廃棄問題など）
- ・観光振興
- ・う回路となる町道の改良整備や拡幅
- ・新白石トンネル事業の進捗 など

自主防災組織強化 防災士との協力体制



にしやま あきひこ
西山 昭彦 さん
(世田米字清水沢)

参加者のひとこと
大雨洪水時の避難に不安があります。橋を渡る必要のない避難所の設置も検討してほしいです。



△ 老朽化により取り壊しとなる旧JRバス宿舎



△ 活発な議論が交わされた東峰公民館

愛 宕 地区

Q 町有建物である旧JRバス宿舎の取り壊しの予定やその後の利活用策はどうか。

A いずれ取り壊すこととなっている。周辺の施設も併せて一体的に活用する考えを町は持っている。

その他

- ・昭和橋の架け替え工事進捗
- ・種山森林公園一帯の飲用水
- ・サル追い払い
- ・気仙川のかさ上げや橋の架け替え計画の見直し など

旧JRバス宿舎解体 周辺施設と一体的活用



やまうち しげお
山内 繁男 さん
(世田米字松ヶ平)

参加者のひとこと
家のすぐ近くまでサルが来て柿を食べています。駆除も含めた抜本的な対策も必要だと思います。

住民の提言を町政に

町民と一緒に取り組む

下 在 地区

Q 飲食事業を考えているが、湧水では保健所の許可がでない。当地区に町水道を整備してほしい。

A 受益者や採算性、水源を考慮して簡易水道を整備してはどうか。共同による井戸水の整備もある。滅菌施設の設置により安全な飲料水となる。補助金制度を活用してほしい。

その他

- ・当地区へのスクールバス運行
- ・訪問介護すみちゃんの事業展開
- ・防犯灯要望の仕組み など

井戸の共同整備 3軒以上から補助金



むらかみ
村上さゆりさん
(世田米字窪田)

参加者のひとこと
普段困っていることを伝えられました。自分以外の方から、自分が気づいていない話が聞けて良かったです。

火の土 地区

要望

- ・当地区内の道路環境や維持管理を改善してほしい。
- ・建築してまだ10年以内の町有建物が、外壁補修を必要としている。今後のあり方も含め検討していくべき。
- ・補聴器の補助金制度を進めてほしい。
- ・給付型の奨学金制度を。

その他

- ・林道整備
- ・サル被害への不安 など

補聴器へ補助を 難聴改善で認知症予防



さとう ひろみ
佐藤 浩美さん
(下有住字火の土)

参加者のひとこと
子どもたちが大学を卒業するまで、安心して子育てができるような町の支援を考えて欲しいです。

懇談会を全6回実施

開催日	自治公民館	出席者数		
		男	女	計
11月22日	月山・外館公民館	8	1	9
11月24日	中井公民館	8	7	15
11月27日	東峰公民館	11	2	13
11月30日	愛宕公民館	4	1	5
12月9日	下在公民館	8	3	11
12月12日	火の土自治公民館	8	2	10
合 計		47	16	63



△ 地域住民によって維持管理が行われている火の土地区内の町道未舗装区間。舗装化を望む意見も寄せられた

追跡レポート⑧〇 一般質問その後 どうなりました

あの提言

保育料を無料へ

議員が行う質問や提言が、町政にどう反映されているか。これまでの質問の中から一部を取り上げ、その後どうなったか追跡してみました。

質 問

保育料の負担軽減を

子育て支援策は、次世代育成への投資である。保育料の負担軽減をどのように捉え、今後の子育て支援に生かしていく考えか。

答 弁

国に先駆け 3歳児以上無料

本町では、平成27年度より、国に先駆けて3歳児以上の保育料を無料としている。さらに子育て世帯のきめ細かい支援として、未満児の第2子の保育料は半額、第3子以降は無料としている。

その後

令和5年度から すべての保育料が無料に



△ 保護者が安心して子育てできる環境を整備

保護者の声



のりこ きお
山内 紀子さんと希旺くん親子
世田米字川向

上の子は3歳、下の子は1歳です。今年も、下の子の入園で保育料がかかり大変だなと思っていました。今年度から無料になり、とても助かります。素直にうれしいです。

すみた想い人 14

町民の皆さんに登場していただく企画になります。町や議会に対しての意見、活動を通して「まちづくり」への想いを紹介していきます。



震災教育の拠点としても期待が寄せられているイコウエルすみた

今回は、昨年5月30日にオープンした「仕事と学び複合施設イコウエルすみた」の管理運営をしている地域プロジェクトマネージャーの関博充さんに最近の状況などを聞きました。

林業・建築関係者の交流を



関博充さん
(世田米字川向)

Q 住田町へ移住のきっかけは。

A 仙台で働いていましたが岩手に戻り、以前、三陸ジオパークで係わりがあった住田町の地域プロジェクトマネージャーに応募し、移住に至りました。

Q 住田町の印象や魅力をどの様に感じていますか。

A 滝観洞は、龍泉洞があり、非日常を味わえます。松日橋は、ザマザやワイヤーを使い気仙川と人の暮らしの中で上手く自然と折り合いをつけて

います。役場近くには木製のガードレールがあるなど、自然との共生からも魅力や面白さが沢山ある町と感じています。

Q アイコウエルすみたの現状と課題は。

A 町民にも認知され、中・高生や一般の人にも利用してもらえようになりました。リモートワークをされる方もいます。

課題は、施設の目的である町内定住率の向上です。新たな働き方や仕事と学びを通じて施設利用者や町の人が出会う機会をつくる調整力をいかに高めていくかにあります。そのためにも、この施設を運営するスタッフの早期確保が必要となります。

Q 今後の活動や町議会への想いを聞かせてください。

A 林業の盛んな町なので、その特色を生かしたプログラムメニューを作り、林業や建築の関係者が、この施設

で交流できる場にしたいと考えています。

議会へは、今回の町議会議員選挙について一町民として選挙権を行使できなかったことは、残念だったと思っています。



津田塾大生による町内児童とのグループ学習

議会傍聴を終えて

12月定例議会において、町女性団体連絡協議会（木村智子会長）役員の傍聴があり、インタビューに答えていただきました。

先月の町議会議員選挙で、初の女性議員誕生もあり、町民の議会や町政への関心が高まりつつあります。自分たちが住む町で、より良く暮らしていくにはどうすればいいか、傍聴を通して考えを深めていただきました。

▽質問項目

問1 傍聴しての感想は

問2 初の女性議員に期待するところは

問3 議会や町に望むことは



木村 智子 さん
(会長)
上有住字恵蘇

現状や課題の発信を

- 答1** 町の課題が明確になり、自分達でも取り組んでいけそうな希望が持てました。
- 答2** 身近な課題をきちんと汲み上げて、暮らしやすい町を創る努力をしていただけること。
- 答3** 様々な制約があると思うが、現状や課題をできるだけ発信し続けてほしいです。



菊田 洋子 さん
(副会長)
下有住字奥新切

健やかに安心な町へ

- 答1** 初めての議会傍聴でしたが、質疑応答がこんなに大変なものかと驚きました。
- 答2** 女性議員の今までの経験と知識を生かし、町民の声を取りまとめ、町政に届けることを期待します。
- 答3** 町民が健やかに安心して過ごせる町になるようにしてくれることを望みます。

議会を傍聴しよう!

町議会は誰でも傍聴できます。次の3月議会の予定は下表のとおり。
生活改善センター議会棟の入口から案内に従って傍聴席へお入りください。

令和5年12月議会の傍聴者は
22人でした。



3月議会は

日	月	火	水	木	金	土
2/25	26	27	28	29	3/1	2
	3	4	5	6	7	8
	10	11	12	13	14	15
	17	18	19	20	21	22
	24	25	26	27	28	29
	31					30

住田テレビ放映 もどうぞ



本会議や一般質問の様子は、住田テレビの「議会放送」でもご覧いただけます。
放映時間は午後6時からです。



紺野 和枝 さん
(副会長)
上有住字新田

女性ならではの視点

- 答1** 議員それぞれの議会に臨む姿勢を間近に見ることができました。
- 答2** 女性ならではの視点で質問をされていて、とても良かったです。やはり、議会には男性も女性も必要だと感じました。
- 答3** 高齢者が住みやすい町、子ども達が住み続けたいと思う町にしてほしいです。



及川 恵美子 さん
(事務局)
上有住字八日町

幸せを感じられる町を

- 答1** 女性の目線でないと気が付かない細やかな質問で、とても共感できました。
- 答2** 高齢者や子ども達、子育て世代に優しい町づくりを期待します。
- 答3** 町民が幸せを感じられて、老後も暮らしやすい町づくりを望みます。



パート
16

わたしの未来

住田町の子どもたちが
将来の夢を語る
コーナーです。
自薦・他薦も大歓迎。申し
込みをお待ちしています。

料理が大好き

ぼくの将来の夢は、**ラーメン屋さん**になることです。ぼくは料理をすることが好きなのでおいしいラーメンやチャーハンを作りたいです。お母さんにも食べさせたいです。お客さんが喜んで食べてくれるようなラーメン屋さんになりたいと思います。



世田米小学校6年
きくち しんた
菊池 真多
(世田米字赤畑)

笑顔のプランを

私の夢は、**ウエディングプランナー**です。いろいろな人の大事なことにたずさわることができ、プラン次第ではたくさんの人を笑顔にする手助けができるからです。また、計画をした私までうれしくなり、笑顔になるこの仕事は、すごくすてきだと思います。



有住小学校6年
みやざき なこ
宮崎 那香
(世田米字鉢ヶ森)

編集後記

委員 阿部 祐一

▼明けましておめでとうございます。議会だよりは、“住民と議会を結ぶ”広報紙として、親しみのある紙面づくりに努めて参りますので、本年もよろしく願いいたします。▼12月議会では、多くの方々へ傍聴に来ていただきました。物価高に係る町民の暮らしや事業者の営業を支援する補正予算の内容や「町民と議員との懇談会」で交わされた内容を取り上げました。ご感想をお待ちしております。

表紙の写真

有住保育園



12月22日、この日の有住保育園は子どもたちが作った飾りや、ツリーでクリスマスムード一色。子どもたちは海外のクリスマスの風習を学んだあと、歌を歌ったり、先生の出し物で大盛り上がり。その中、園長先生から「優しさ」についてのお話が。優しさとはどういうことか、子どもたちは真剣にそのお話を聞いていました。最後はサンタさんからプレゼントをもらい、「サンタさん、ありがとう」と優しさと笑顔あふれる素敵なクリスマス会になりました。

広報編集常任委員会

発行責任者



議長	佐々木 春 一
委員 長	水野 正 勝
副委員長	荻原 祐 一
委員	阿部 上 薫
	村本 正 徳
	瀧野 千 津